

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

2002年7月1日作成 整理番号 001

製品データ情報

バルクデオキシダイザー Dox151

A. 特長

Dox151は、スマット生成を最小限に押さえた、アルミニウム合金用の化成処理前還元剤です。

B. 使用方法概要

1) 薬品濃度

処理槽容量	1,000Lの場合
Dox151を	30L (10~50L)

※水は常温の水をご使用下さい。

2) コントロールポイント (標準の作業状態)

遊離酸度滴定:	15~30ml (8~45ml)
温度:	室温

C. 処理工程

- No. 1 工程 — 脱脂 (D 参照)
- No. 2 工程 — 水洗 (D 参照)
- No. 3 工程 — Dox151
- No. 4 工程 — 水洗 (G 参照)
- No. 5 工程 — 後処理 (G 参照)

D. 下地処理

ほとんどの対象物は適正なバルククリーナーで脱脂可能です。もしも対象物の汚れが酷く更に強い洗浄が必要な場合は、バルクソル (洗浄添加剤) をバルククリーナーに添加します。脱脂後には水洗が必要です。混入を防ぐ為に水洗は常時オーバーフローさせます。

注意) 当社スタッフが適したタイプの脱脂剤をライン特性にあわせて選定いたします。

E. 処理槽のメンテナンス

Dox151は、遊離酸度滴定値を処理槽管理の目安にします。滴定には当社製品の滴定セット 151 またはそれと同等品をご使用ください。滴定は頻繁に、できればシフト毎に行ってください

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

遊離酸度滴定

- 1) ピペットで浴サンプル 10ml を 200ml 三角フラスコに採り、100ml の蒸留水を加えて攪拌します。
- 2) 指示薬 No. 10 (ブロム・フェノール・ブルー) を 4~6 滴加えて攪拌します。
- 3) 滴定液 No. 19 (0.1N 水酸化ナトリウム) によって目盛り 0 位置までビュレットを満たします
- 4) フラスコを緩やかにかき混ぜながら、溶液が青色になるまで滴定液 No. 19 をゆっくり加えます。
- 5) 滴定液 No. 19 の使用量が酸度です。

F. 運用上の注意

1. 運用中には次の事項について注意して下さい。
 - a) Dox151 の槽には適度の換気装置を取り付けて下さい。
 - b) Dox151 の蒸気を吸い込まないように防護マスクを着用して下さい。
 - c) 適当な防護服を着用し、皮膚に付いた場合は直ちに十分な水で洗い流して下さい。
2. エッチングの度合いは浸漬時間に比例します。30 秒で僅かにエッチングが得られ、より深く均一なエッチングは 1~2 分で得られます。部分溶接の前処理としての推奨浸漬時間は、ほとんどの合金で 3~5 分です。
3. ここに説明している建浴方法および補給方法は、ほとんどの設備に対応する標準的なものです。個々のラインに合った条件は当社技術スタッフが提示致します。

G. 後処理

Dox151 で処理した後は、水または温水で十分に洗浄して下さい。溶接を施す場合は乾燥させて下さい。

H. 装置の注意

Dox151 を入れる槽は 300 シリーズのステンレス (316 等) であるか、またはポリエチレンまたは同等の耐酸素材のライニングが施してある必要があります。